

## 農林金融2023年10月号

## 漁協における事業多角化の意義と課題

(亀岡 敏平)

第3期浜プランでは、漁協は海業すなわち事業多角化を通じた所得確保に取り組む予定である。しかし、漁協による事業多角化は、現実には必ずしも広がりを見せてはいない。この停滞感を乗り越えるためには、中身として何をするかよりも新規事業着手時の課題をいかに乗り越えるかのほうが重要である。先行する太地町漁協の取組みからは、行政との連携、多様な負担軽減策の積み上げ、組合員との丁寧な利益調整、第三者の視点を交えながらの組合内部の合意形成といったポイントを析出することができた。特に行政との連携関係を構築するには、交流人口の増大等地域課題の共有化が重要であり、連携を通じて、漁協は漁業にとどまらない地域活性化の担い手としてより一般性の高い地位を獲得できると期待される。

## 漁協の事業多角化にあたっての

## リーダーの意識と行動

(尾中 謙治)

国は、2022年3月に閣議決定された水産基本計画において、「海業」を漁協・漁家経営の下支えする大きな柱として位置づけた。

これから海業をはじめとした事業多角化に取り組もうとする漁協にとって、優良事例の取組みを参考にすることは有益であるが、そもそも各漁協の内部および外部環境・条件は異なっており、環境自体は常に変化しているので、優良事例のような結果や効果を実現することは容易ではない。

観光関連への事業多角化を実現している3漁協の調査をしたところ、事業多角化の実現にあたって経営層であるリーダーの意識と行動の影響が大きいことがわかった。

本稿では、事例調査に基づき事業多角化にあたって重要な8つのリーダーの意識と行動を紹介する。

## 農林金融2023年11月号

## 欧州におけるソーシャルタクソミーを

## めぐる議論

(重頭 ユカリ)

欧州では、サステナブルファイナンス行動計画に基づき、何が持続可能な経済活動なのかを分類するためのタクソミーを、環境分野だけでなく社会的な分野にも拡張することを目指している。環境タクソミーは科学的な基準に基づくことができるがソーシャルタクソミーはそうすることができないという難しさがある。

本稿では、ソーシャルタクソミーに関する最終報告書で提案されている分類方法と、それに対して欧州のソーシャルバンクがどのような論点を提起しているかを紹介する。欧州の社会情勢もあり、ソーシャルタクソミーに残された課題がクリアされるかは今後の推移を見守る必要がある。

## 農村の援農における交流の意義と農協の役割

(佐藤 彩生)

農業の労働力不足が課題となるなか、多様な主体の援農への参画が求められている。本稿の目的は、農村における援農の取組みに着目し、農家にとっての交流の意義と農協の役割を明らかにすることである。そこで農村の援農の特徴を検討したうえで、JAふじ伊豆の「西浦みかん援農ボランティア」、JAにしうわの「みかんアルバイト」、JAいしかりの「石狩アグリケーション」の3つの事例を取り上げた。

援農における農家にとっての交流の意義は、①援農者の参加意欲の誘発、②作業者のモチベーション向上、③援農者の思い出づくりに伴うリピーター形成、④リピーターの作業技術の向上の4点が挙げられた。また交流に着目した農協の役割としては、①援農者受入れの運営、②農家と援農者の関係性構築のサポート、③移住・就農者の発掘とサポートの3点が挙げられた。

## 農林金融2023年10月号

(情勢)

### 森林経営管理制度の進捗状況と 林地流動化の現状

(安藤範親)

2023年に実施した第35回森林組合アンケート調査では、まず「森林経営管理制度と森林環境譲与税」について伺った。19年にスタートした同制度も4年が経過したことで、「経営管理実施権の設定を受ける民間事業者の選定」や「経営管理実施権配分計画の公告」が増加している。これより、市町村に委託された森林の経営管理が進んでいることがうかがえた。

次に「林地の流動化・取得の状況」について伺った。その結果、組合への林地の売却に関する問合せは増加している一方で、林地の購入引合いは弱まっている現状にあった。また、組合による林地取得については、「林地の取得は行っていない」が過半を占めた。

## 経済金融ウォッチ

### 2023年10月号

(国内)

日米金融政策の思惑をめぐり、円安・金利上昇が進む

(海外)

- 1 労働市場のひっばく度合いの緩和が進む (米国)
- 2 物価の下げ渋りの一方で強まるユーロ圏の景気後退の懸念

### 2023年11月号

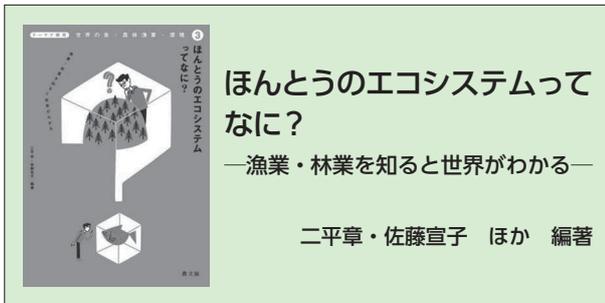
(国内)

物価高の影響から景気回復テンポは緩慢なまま

(海外)

- 1 労働市場とインフレ率の緩やかな抑制が継続 (米国)
- 2 予想を上回った23年7～9月期の中国GDP

## 発刊のお知らせ



2023年4月3日発行 B5判164頁 定価(本体2,600円+税)  
農山漁村文化協会

森里川海のつながりに支えられ、そして支えているのが漁業と林業。漁業のパートでは、回転寿司の魚はどこから来るの?といった親しみやすい話題から、なぜ日本の海は魚が豊かなの?という誰でも抱く疑問、資源管理のさまざまな仕組み、さらには海洋プラスチックごみの問題といった喫緊のテーマなどを取り上げる。また林業のパートでは、世界の森とわたしたちの暮らしの関係、木材だけでなく森林からの恵み、防災とのつながり、森の豊かさと生物多様性との関係などに注目。いま求められる、持続的な森づくりとはどのようなものなのか。

## 経済金融フォーカス (随時発信)

- 6月FOMC後の政策金利織り込みの考察
- 米国経済のオーバーキル・シナリオ考察

## 経済見通し

### 2023年9月発信分

23年度後半の国内景気は足踏み状態に